

# 原子力基盤研究開発拠点形成プログラム

【概要】 原子力エネルギー等の利用を支える原子力の基礎・基盤を強化するため、**原子炉・ホットラボ等の研究開発施設(ホット施設)を中心とした産学官による研究開発拠点**の形成を図る。

## 【必要性】

- 世界的な原子力リネッサンスの潮流のもと、我が国においても、引き続き基幹電源としての原子力利用継続や、核燃料サイクル事業の本格化、さらには原子力産業の国際展開が見込まれる中で、改めて原子力基盤の維持・強化を図っていくことが必要
- 一方で、
  - 大学の原子力関係学部・学科の大幅減少による人材育成機能の弱体化
  - 資金不足や廃棄物・安全管理の問題等により研究用原子炉やホット施設の運転・維持が困難
  - 原子炉やホットラボを活用する原子力の基礎・基盤分野の研究開発体制が弱体化などの課題が指摘
- こうした課題に適切対応し、我が国の原子力利用を支えていくための支援策が必要

## <原子力基盤研究開発拠点プログラム>

→ホット施設を中心とした産学官による研究開発拠点型の研究開発等の推進を図り、課題解決を図る

## 【期待される効果】

- ホット施設の有効利用
- 効果的・効率的な研究開発及び人材育成の実施
- 上記を通じた我が国の原子力に関する基盤の強化
- 産学共同研究、技術移転等による産業競争力強化

●**ホット施設の利用に係る大学、研究機関等の研究成果の産業界への移転**

●**ホット施設を用いた人材育成**

原子力基盤研究開発拠点

●**ホット施設の利用を中心とした産学官共同研究**

- 対象施設: 公的研究機関、大学等が所有する原子炉、ホットラボ等
- 事業期間: 5年
- 予算規模: 1~2億円/(年・拠点)
- 支援経費:
  - ・共同研究・人材育成等のための施設の運転に係わる経費
  - ・施設のユーティリティ設備等の整備費
  - ・利用コーディネータ、技術指導員、技術支援員等の人件費
  - ・マッチングファンドによる産学官共同研究費